

もてぎチャンピオンカップレース 第4戦 レポート

(ツインリンクもてぎ ロードコース 6月23日 晴れ)



<レーシングチーム> LTV Racing

<ドライバー> 天野 翼 (20歳)

<参戦クラス> Super-FJクラス(ゼッケン23番 参加15台)

<マシン> ZAP F109

<スポンサー> T-PLAN様

<タイヤ> YOKOHAMA

<オイル> WAKO'S

<リザルト> 予選 1位 (初ポールポジション)

決勝 6位

<リザルト詳細URL>

ツインリンクもてぎ http://www.twinring.jp/result_m/2013/4wheel/

Super-FJオフィシャル <http://www.jss-org.com/>

<詳細レポート>

* 金・土曜日練習走行

金曜日は全セッショントップタイム。土曜日は最後のセッションはキャンセルしトップタイムは更新されたが、そこまではトップタイムをマークしていた。毎度の練習走行では速さを見せるが決勝は... という状況だったが、最終セッションの走行をキャンセルできるくらいに好調な仕上がりとして課題を克服できていた。本当に期待の持てる状態で翌日の決勝レースに備えることができた。

* レース当日

【公式予選】

今回は速さに自信があった為、前に誰もいない状況を作るべく最初にコースインする。順調にタイムアップし、前日の状況から想定していたポールタイム 2分3秒1に到達するが、ライバルとのギャップが無い。路面コンディションがよくなっていることに気づいた天野選手は、7周目をクールダウンラップにし、再度タイムアタックを試みた8周目に全選手中唯一の2分2秒台に入れた。最終的にはライバルの一人も2秒台に突入したが、結局この2'02.945がベストタイムとなり、初のポールポジションを獲得することができた。新型車両のZAP F109にとっても初のポールポジションとなる。

【決勝レース】

スタートはやや出遅れてしまったが、上位選手は皆スタートが良くなかった為にトップをキープし1コーナーへ進入。2コーナーの立ち上がりから背後に付かれ、3コーナーで少しミスしてしまい2台に抜かれてしまう。その際にフロントウィングを引っ掛けられてしまい曲げてしまう。何とか立て直し3位で2台を追う展開となる。天野選手を含めた上位3台はペースが速く、後続との差をどんどん広げて行く。その中でも冷静さを取り戻した天野選手は2周目終了時点で1秒ほど差があったが、前の2台の様子を見られるくらいに好調なペースで、チャンスを覗いていた。6周目に入るとトップの選手のペースが若干落ちてきて、2番手の選手が激しくパッシングを試みる。7周目も同様で、8周目にチャンスが訪れた。4コーナーでトップ2台の立ち上がりが悪く、ストレートで2番手の選手がトップを交わし、そのスリップに付いて天野選手は難なく2番手へ浮上する。そのままスリップに付いていた為、トップに浮上した選手はイン側のブロックラインをとった。スリップを抜け出した天野選手はアウト側からパッシングを仕掛ける。2台併走したまま、5コーナーに侵入したところでシフトロックしてしまい痛恨のスピン。反対向きで停止してしまった。後続との差が大きかった為、何とか7番手でレースに復帰する。最終的には1台交わし6位でゴールとなった。

(BEST TIME No. 23 天野 翼 LTVRacingF109ED 2'03.128 5/10 140.38km/h)



今回は、新しいスポンサー様や、開発ドライバーからのアドバイス、ZAPUSHでのシミュレータートレーニングなどいろいろな面で協力してもらい、前3戦の走りの課題を克服することができていました。その成果を優勝という結果で残したかったのですが、当然、天野選手が一番悔しさを感じていると思います。それでも、スピン後の9周目も速いラップで走っていたこと、決勝でファステストラップをとれたことが課題克服の成果なので、残るはメンタル面を克服できれば、次に繋がると思います。

いつもの締め言葉になってしまいますが、初勝利に向けて、引き続き応援をよろしく願っています。

【ドライバーコメント】

今回のレースは、F109初ポール・初優勝を至上命題に臨みました。

当日、しっかりとマシンセッティング・ドライビングを合わせこむことが出来、初のPPを獲得できました。レースでは序盤にシフトミスでポジションを落とすも気持ちを入れ替え、自分のペースを取り戻しました。トップを取り戻すべく勝負を仕掛けましたが、無理がありスピンしてしまいました。

レースペースが良かっただけにとっても悔しいです。